

八ヶ岳（阿弥陀岳）

記録 河本嘉照



阿弥陀岳の頂上 河本（横須賀山岳会）・田中・高橋（横須賀嶺朋会）

期 間：平成 31年 3月 9日（土）～10日（日）
種 別：横須賀山岳協会雪山技術講習会（嶺朋会との合同山行）
山 域：八ヶ岳（阿弥陀岳縦走）
参 加 者：横須賀嶺朋会（CL 田中なおひと、高橋友孝）
横須賀山岳会（河本嘉照）

コースタイム

3/9

11:00 美濃戸山荘 13:30 赤岳鉱泉

3/10

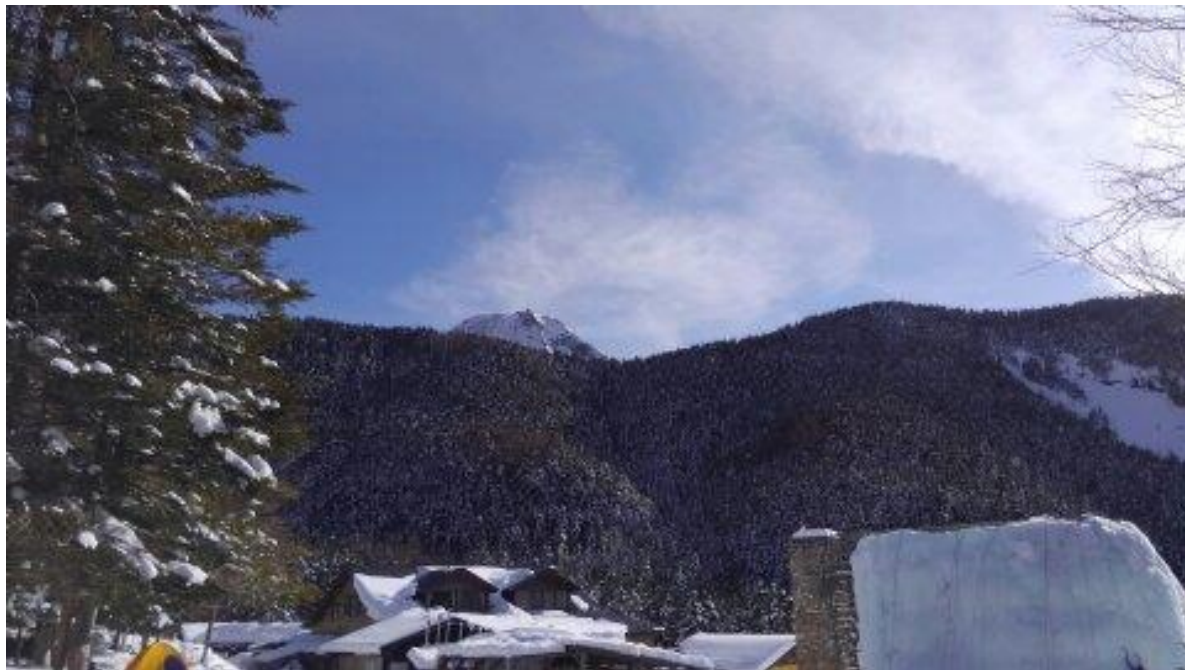
7:30 赤岳鉱泉 8:20 行者小屋 9:30 中岳のコル 10:30 阿弥陀岳 11:30 中岳のコル 12:00 行者小屋
12:40 赤岳鉱泉 14:30 美濃戸山荘

今回は横須賀山岳協会の冬山技術講習会という事で横須賀山岳会からは河本 1 名の参加となった。今回の山行のテーマは、個人的に購入した冬用フライシートを試すこととしたかったのだが、高橋協会長に参加の旨を伝えたとこ、行動を共にしたいと打診され今回の合同山行が実現した。嶺朋会は当初赤岳を目指す予定であったが、行き先は私の希望であった阿弥陀岳に変更して頂いた。

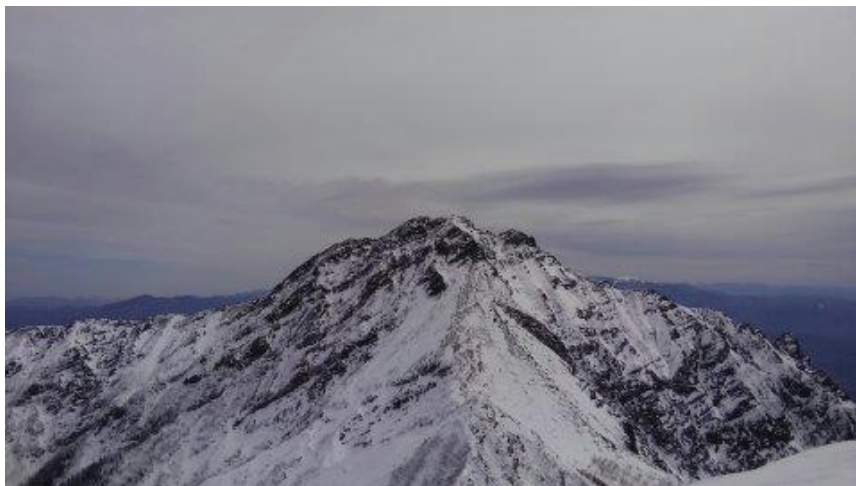
当初、一般の縦走路と言うことで私は軽く考えていたのだが、現地の情報だと文三郎から分岐する中岳沢はよく雪崩が起こるとのこと。連日雪が降り続けているので中岳沢を通るのは控えた方が良く、地元の警備隊の方々にも指摘されたが、現場まで行って状況判断することにした。

中岳沢に到着し雪質や地形を確かめてみると、正直こんな所で雪崩なんて起こるのかな。という印象であった。トレースもしっかりしていたので迷わずそこを通過することにした。途中何組かのパーティーに出会うが、やはり皆雪崩を気にしていた。阿弥陀から行者方面へ向かう最短ルートであるため、このルートは大変魅力的ではあるが、そこは雪崩のリスクとトレードオフである。ここを通過するのはあくまでも自己責任ということだろう。

後は特に危険箇所もなく順調に登頂。田中 CL はこの日わけあってチェーンアイゼンでの山行となったが、それでも登頂できてしまうくらい山のコンディションは良かった。降りは頂上から 100 m ほど降った所に一箇所だけ急峻なポイントがあった。田中 CL だけチェーンアイゼンだったのでそこだけザイルを出して無事通過。あとは特筆するところもなく 14:30 に下山した。今回は自身初となる他団体との交流山行となり、大変貴重な経験をさせて頂いた。田中さん、高橋協会長、ありがとうございました。



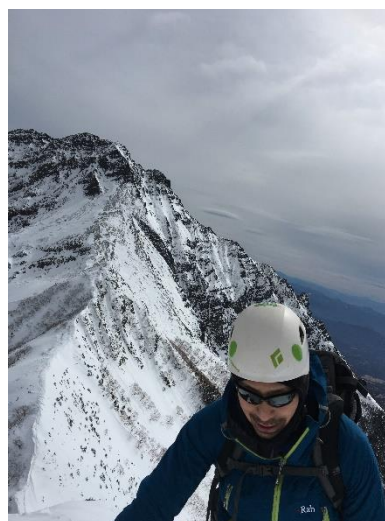
赤 岳 鉱 泉



阿弥陀からの赤岳



中岳のコル



頂上付近



ザイルを出す嶺朋会代表 高橋さん



中岳のコル